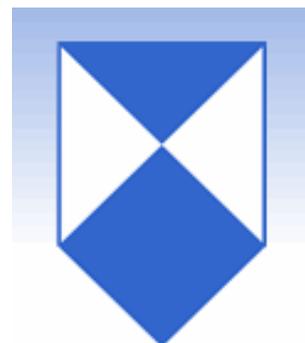


ブルーシールド研究会

開催のご案内



2012年文化遺産国際協力コンソーシアム研究会「ブルーシールドと文化財緊急活動—国内委員会の役割と必要性—」（2012年9月7日・東京国立博物館）をうけて、ユネスコ専門家を講師に迎えてブルーシールドの活動について詳しくご説明いただく勉強会です。興味・関心のある方々の、幅広いご参加をお待ちしています（参加費無料）。

日時：2013年7月22日（月曜日） 午後5時半～7時半頃

会場：東京文化財研究所 会議室（地下1階）

〒110-8713 東京都台東区上野公園 13-43

（受付にて、この案内のプリントをお示し下さい）

講師：高橋暁（たかはし あかつき） 1962年、岩手県大船渡市生まれ。津田塾大学国際関係学科卒業。ユネスコアジア文化センター（東京）を経て、1989年より、ユネスコ本部（パリ）に文化担当官として勤務。国連世界文化発展10年事務局、ヴェニス事務所、文化局エグゼクティブ・オフィスで、国際文化協力の振興に携わる。2010年より、ユネスコ太平洋州事務所勤務。

パリ本部勤務中の2010年、立命館大学大学院理工学研究科博士後期課程修了、工学博士。

著書：『世界遺産を平和の砦に—武力紛争から文化を守るハーグ条約—』、すずさわ書店、2010年12月。

（条約法律等全基礎文献収録。希望者には、当日割引価格で販売予定）

コーディネーター：栗原祐司

2011年東日本大震災発生時に、文化庁文化財部美術学芸課長として全国的な緊急支援活動連携等に従事。

京都国立博物館副館長を経て、2013年4月より国立文化財機構本部事務局長。

主催：独立行政法人国立文化財機構本部事務局

〒110-8712 東京都台東区上野公園 13-9、電話 03-3822-1111

後援：日本イコモス国内委員会

ブルーシールド（青盾）とは

1954年ユネスコ・ハーグ条約において、武力紛争の際に攻撃を抑えるべき文化遺産を示すために指定された標章であるとともに、戦争や自然災害で危機にある文化遺産保護を目的として設立された知識と経験のネットワークのための国際委員会の名称。

ブルーシールド国際委員会（ICBS）は、4つの文化財に関わる専門家による非政府組織のICA（国際文書館評議会）、ICOM（国際博物館会議）、ICOMOS（国際記念物遺跡会議）、IFLA（国際図書館連盟）が設立し、後にCAAAA（視聴覚アーカイブ協会調整協議会）が加わった。国際委員会の活動をささえるために現在、米英仏伊豪等22の国内委員会があり、独露印韓等25カ国で設立に向けて準備中（2013年5月、Web情報）。

日本は2007年に、同条約と関連の2つの議定書を批准し、文化庁は関係国内法整備も行っており、ブルーシールド国内委員会の早期設立が、国際的に期待されている。